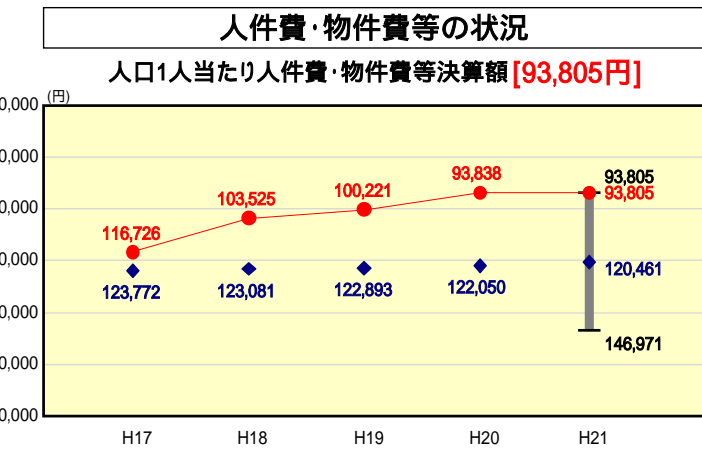
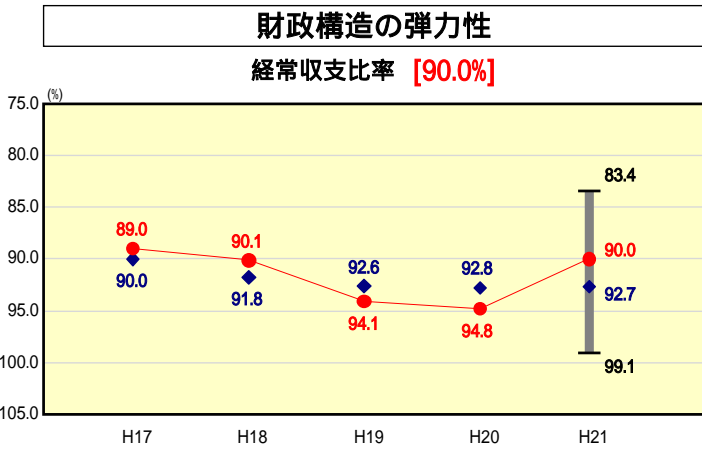
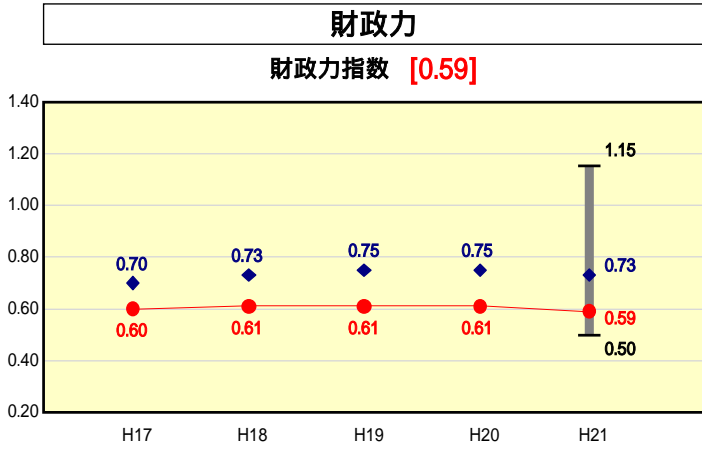


# 市町村財政比較分析表(平成21年度普通会計決算)



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

**分析欄**

**財政力指数**  
類似団体と比較して低い水準となっている。今後とも、経常経費の削減・定員管理・給与の適正化、地方税の徴収強化等の取組みを通じて財政基盤の強化に努める。

**経常収支比率**  
類似団体平均より2.7ポイント弾力性が高い状況にあるが、これは普通交付税の伸びによるものが大きい。福祉関係経費や下水道事業に対する負担金の負担が大きく、平成18年度に策定した財政健全化計画の着実な取組により、経常経費の削減、下水道使用料の適正化による繰出金の抑制に取組み、財政構造の改善を図っていく。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**  
人口1人当たりの人件費、物件費(委託料等)の状況は、類似団体と比較して一番低い状況にある。これは、職員の退職者不補充による減員やごみ・消防業務を一部事務組合で行っているためである。

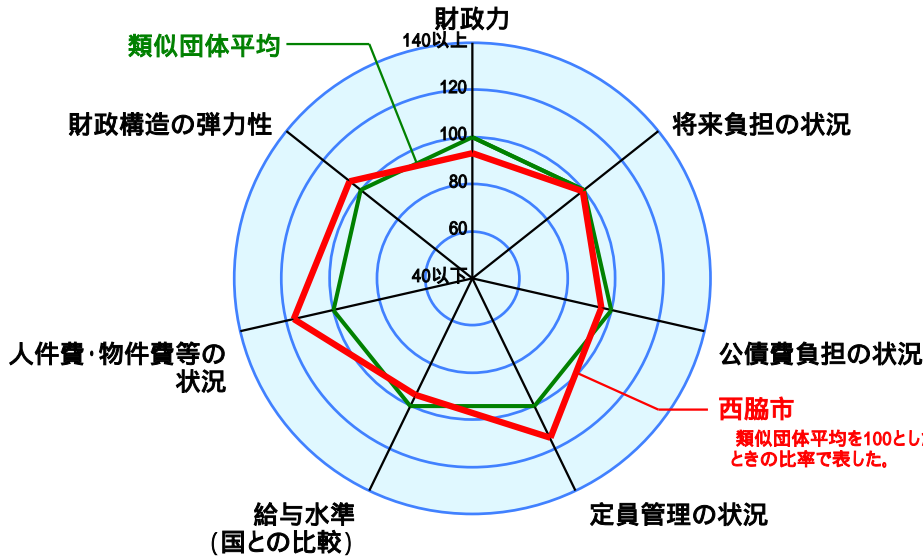
● 当該団体値  
◆ 類似団体内平均値  
T 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 12/18  
全国市町村平均 0.55  
兵庫県市町村平均 0.66

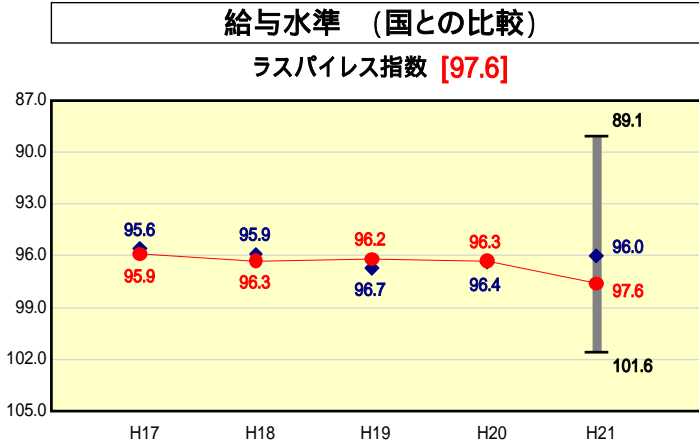
類似団体内順位 6/18  
全国市町村平均 91.8  
兵庫県市町村平均 94.5

類似団体内順位 1/18  
全国市町村平均 115,856  
兵庫県市町村平均 114,729

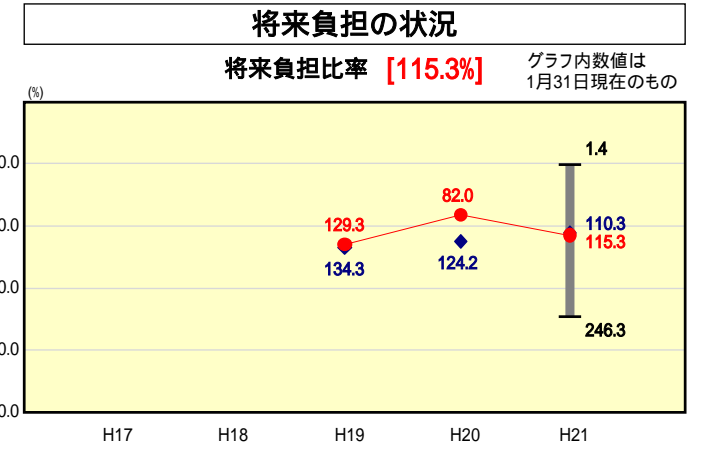
人口	43,994	人(H22.3.31現在)
面積	132.47	km <sup>2</sup>
標準財政規模	11,373,478	千円
歳入総額	19,278,194	千円
歳出総額	18,521,522	千円
実質収支	639,874	千円



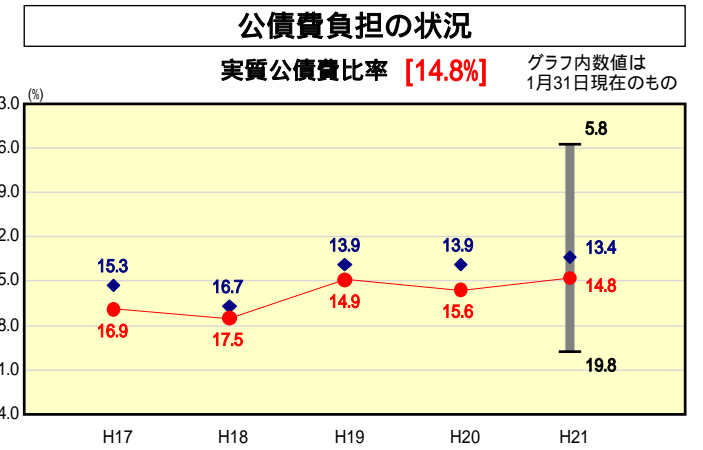
類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。  
平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。  
充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。類似団体内平均値は、充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。



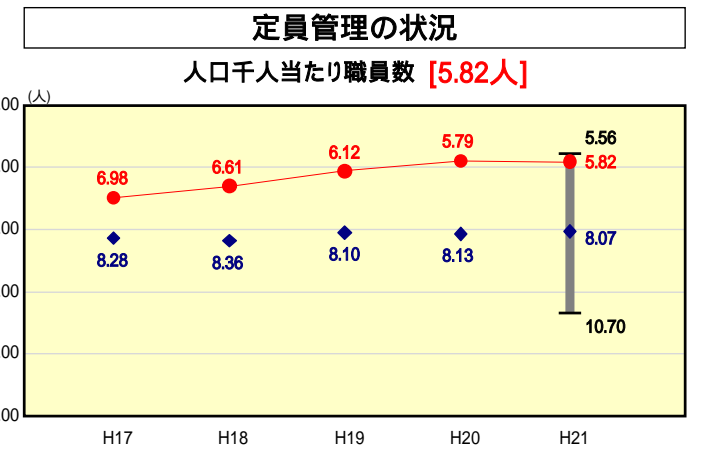
類似団体内順位 10/18  
全国市平均 98.8  
全国町村平均 95.1



類似団体内順位 10/18  
全国市町村平均 92.8  
兵庫県市町村平均 141.6



類似団体内順位 11/18  
全国市町村平均 11.2  
兵庫県市町村平均 13.3



類似団体内順位 2/18  
全国市町村平均 7.33  
兵庫県市町村平均 7.13

**人口1,000人当たり職員数**  
類似団体や全国市町村の平均値と比較して、職員数は少ない状況となっている。平成18年度に策定した定員適正化計画(平成28年度までに100人以上の職員削減)はほぼ達成し、本年度にはより効果的で効率的な行政運営を実現するため、定員適正化計画の改訂を行った。今後とも定員適正化計画に基づき、職員数の適正化に取り組んでいく。

**ラスパイレス指数**  
昨年度と比較して1.3ポイント上昇しているのは、職員構成の変動等によるものであるが、類似団体や全国市町村の平均値とほぼ同水準にある。今後とも、定員管理と合わせ人件費の適正管理に努める。

**将来負担比率**  
類似団体と比較して高い水準となっている。企業会計等の地方債償還に充てるための一般会計からの繰入見込額は、多い状況となっている。基準財政需用額算入の有利な起債の活用により、将来負担の適正化に努める。

**実質公債費比率**  
昨年度と比較して0.8ポイント改善しているものの、類似団体や全国市町村の平均値と比較しても高い水準にある。市立病院の建設事業や下水道事業により発行した地方債の償還が影響しており、数年間は高い水準で推移すると見込まれる。今後とも中長期の財政収支の見通しのもと、事業の緊急度や住民ニーズを把握した適切な事業実施に努める。